

—80%以上のCO2削減のG8告白表明下での
米オバマ新政権半年と日本の民主党政権移行—

'09/7/23, 24, 26

米国内のみならず世界に無法拡大と世界不況化した破滅的軍産CIA複合体ブッシュ政権への大反動としての民主化米オバマ政権樹立は明白、他方戦後米CIA傀儡の一党独裁自民政党政治反動としての民主党台頭も変化切望の国民の声では共通、だが米は前政権の本質的な大負遺産解消では進歩がない。日本民主党政策はまずは戦後官僚ファシズム体制への挑戦に始まるのだが、その背景CIAを熟慮すれば日米安保体制是非問題が不可避。.....
.....然るに今、
北極海氷層融解急速進行はメタン破滅寸前にある、ともかく時間がない? !!!!!.

理屈で難しい諸兄妹は以下音楽家の激烈な予言曲に直感を動員して欲しい。Listen, ...
Jumping Jack Flash, by Rolling Stones & Save the children, by Marvin, Gaye,
Poem "Vers la Flamme (Toward the Flame, 1914)" by Scriabin.

[0]: 現代世界最大鬼物: 80%以上CO2削減のG8間告白発表明と米軍産CIA極右複合体.

(1) 終に告白された80%以上CO2削減のG8認識表明だがこの数字に商業報道は実効沈黙):
米国は1997年5%CO2削減の京都議定書にも参加せず、ブッシュ政権では全く反動的で世界最大排出国、だが削減量本質は80%以上が7/7イタリア_ラクイアでの先進国G8間認識では終に告白合意された(だが2050年は手遅れ!!)。象徴的にも地震被災の同地では風呂なしの警察学校宿舎が首脳たちに用意された。問題数字は現状の資本主義経済体制に麻薬ずけの経営者-市民一般には超逆立ちだが、その真相は既に専門家間では常識。

<http://www.geocities.jp/sqkh5981g/Carbon-budget-reality.pdf>

(2) 2050年ではもう無用、専門家現実には2013年でも保守的と言われる<商業報道は皆無>:

研究者証言によれば1997/1998年に北極Northwind海域では0.6→25%/年の突発急激な氷層融解発生、海温1度C上昇、長期熱膨張太平洋流が{幅86km, 最大水深新42m}の冬季凍結ベーリング海峡を突破(それ以前に水面下融解進行)、従来は固定状態氷層が回転開始、氷破碎進行で正帰還融解加速化が開始。この状況は後戻りできない不可逆性の可能性にも研究者は言及、北極海大陸棚(水深200~300m)下の推定大量埋蔵メタンクラスレートは氷層冠があつての過冷却状態*でかろうじて安定(余裕は2度前後)という状況、氷冠融解の不可逆性はメタン破滅の過去二度の歴史事実を考慮すると地上生命への死刑宣告にも近い。ちなみ上記情報は以下外での欧米語サイトでは見れない<氷層面積でなく、体積情報もない>。

<http://www2.kaiyodai.ac.jp/~koji/BE.pdf>

<http://www.jamstec.go.jp/iorgc/topics/20060607/index2.html>

http://www.geocities.jp/sqkh5981g/Bering_Strait.Pdf

(3) G8 首脳は未だ完全告白にはない。

確かに米はイラク撤退表明、だが元々指導者がどうあれ、同国への**無法侵略戦争**は明白、ブッシュ米国は真珠湾日本同様に**有罪**、**国際社会もこれを放置すれば将来世界に無法蔓延**。然るに未だアフガン進駐、上記(1)(2)を考慮すれば米国と世界は戦地を全く間違えてる!!、敵は**北極流入膨大熱**と世界市民の**無知**なのだ。それと有罪の**米軍産 CIA 複合体**、現状オバマ政権と米国民は事実上の犯罪者ブッシュの弁護士の様な者、確かに過去に米軍産 CIA 複合体は軍縮ケネディ大統領を公衆面前での暗殺を抱える、だがこの悪魔との闘争問題は地上全生命がかかった**最後の審判**である。CIA 問題は現日本民主化でも命がけの中心問題でもある。今、小沢元民主党代表も CIA 謀略冤罪でその政治生命がかかっているのだ。
<http://www.geocities.jp/sqkh5981g/W0assassin.pdf>

[2]: オバマ政権(世界諸政権)の**現状延命路線**では全く救済がない。

(1)政策設計の論理：まず現状都合を一度放棄して、将来事実真相から逆算して現状体制

かくあるべしを図る。資本主義成功は人類歴史上にない物質主義快樂文明を樹立、だがやりすぎで墓穴を掘った。過度の金融支配経済の自己破綻と過度石油エネ依存の環境破壊。だが逆位相の精神主義宗教文明は現代危機を古代より見抜いていた<ヨハネ予言,.....>。然るに現状都合のみでの対処療法は危険な既成体制延命に手を貸すだけの破滅政策、

まず超不都合な北極融解加速とメタン破滅現実を認知、となるともう生きるだけの政治経済しか選択余地がない至急の 80%以上の削減政策実施である。もう一つが問題の悪魔の選択、CO2 でなく地球人口を減らせというブッシュ極右路線、米国民は核放棄を開始したオバマ政権生命を再度、選択支援するか、**軍産 CIA 複合体**に委任するのかの決断にある。

世界の軍隊を北極防衛軍に再改変する、可能で有効ならばベーリング海に水門設置史上最大工作作戦をやる。砂漠を緑化する等の地球防衛軍にする。国民は 20%化石エネ使用の**統制経済**に、環境緩和にいたる間はならざろう得ない(**ラマダン戦略**)。現状最大問題を反復すれば超不都合な事実を、世界認知する事から全てが始まるのだ。緊急になれば自滅するしかない。かような精神状況下では、生存環境破滅が進行して醜い資源争奪戦の断末魔が地球上を覆う事になるのだ。万が一にも事実認知しても間に合わないとなれば、己への審判に飄々と従う精神準備期間をもてる可能性がある。

<http://www.timesonline.co.uk/tol/news/uk/science/article1480669.ece>

(2)未だ継続する米国 CIA の日本謀略侵害こそは世界革新阻害の最大要因：

日本人だけが特に優秀などとは思わないが、世界の誰もがしない事をやる可能性を阻害してるのは CIA 支配だ。確かに民主主義は自力で獲得するもの。さりとして他国内政干渉は違法反道徳はイラン侵略に同じ。ナチス米国は未だ半年では治癒していない。オバマ支持者は上記(1)発想で政権政策の軌道修正を期待する。でないと米オバマ政権は地球潰し政権の歴史になってしまうのだ。師匠**ジェレミア・ライト師**の説教は正しい。

<http://abcnews.go.com/Blotter/DemocraticDebate/story?id=4443788&page=1>

[3]:上記如く、米国もそして国連も現状延命政策＝破綻しかない、日本はどうする！

①現状世界はあてにできない。だがあてになるようにしなければ終わり。

(1)世界は気候変動緊急危機と経済問題核心部の金融0サム定理を認めろ！

資本主義世界エリートは自殺願望、なぜならば既成体制は確実に大破滅の道だからだ。先日まで筆者は間抜けにも IPCC, 国連等を信用してた。だが気候変動問題対処での IPCC 無能無責任ぶりを知った(予測は非常に保守的、現実は大深刻が多くから非難されてる)。もっとも致命的は加藤修一議員が 2001 年の国会質問で指摘したメタン破滅問題が IPCC のモデル計算ではまったく無視されてる事だ。承知でも暗示する程度の報告書なのだ。同時に同類の国連事務当局正体も知った、彼らはナチスに密かに則られた官僚天国だ。米国現状も既成体制延命でしかない(だから今後を期待する)。金融0サム定理を直視すれば通貨資産総額＝負債総額、従って富裕層&企業保護となれば負債は全部政府へ流入。最終的に国民生活保障できるのは政府義務だけなのに、それを最終的に潰す政策になってる。問題は余剰課税せずして、政府財政保障はない事は0サム定理から明白、提唱者の筆者が弾圧される一つ理由である。資本主義崩壊とマスコミは表面大騒ぎだが、裏実態は守旧作業。かように世界の website 情報には人類命運を決する核心の肝心要が抜けてる事にも気づいた、然るに極めて少数派だが日本には未だ世界真相に迫る言論者がおる事だった。さりとて一般人はマスコミフレコミ詐欺に簡単にかかる有様だ。(だが民主党小沢党首事件等のお陰で、逆に国民には戦後隠れて見えない物が見えてきたのだ。それが各地での民主党選挙勝利である)。筆者は世界言論を侮辱したが、他方、そこは世界なのである！、そこには優秀な少数派が確実断固と居る。彼らもわれ等に等しく見えて、隠れてのナチス支配の弾圧抑圧下にあるのだ、彼らとの大同団結こそが最終勝利を決定する。

②党首問題は残れど、生活第一の骨格基本政策で民主党に団結、政権交代を図るべし。

これからの時代は何でもあり、混沌時代になる。一時か、永劫かは以下の方法にかかる。

(1)これからは過去常識や経験は邪魔だ!、整合性ある論理だけが生き残りになる!!!

その出発点こそが生活第一、それは{食糧, 住居と最小限の電力エネルギー}の確保。

無論、医療教育福祉等々も欠かせないが、

*スーパーが法人農業開始、無一文サラリマンの貴方も農業新規参入が可能に、

*誘電体があれば縦波電位波発電で電力も最終的に無料化するのですが、

*民主党には政権経験がないと言う、だがあればこそその腐敗無能自民、国民を舐める経験、

*ともかく本質简单の核心部の前後将来の筋だけを徹底して通す事を集中設計考案する。

間違いの無い本物は誰も否定できない永遠不滅、世界に挑戦(販売)可能です。

と言うか、世界の方が大間違いをしてるのであり、それを日本が率先修理しないと、....

だから既成マスコミ&教科書を頼りにしてはいけない。

*世界情勢異常の現実をマスコミに代わってって周知徹底しないと後が悲惨になる!。

(2)皆、専門家ぶるな、細かい事は後回し、まず**統合的大局核心**から優先順位で発想する。
統合的大局核心部分は皆が共通認識にしないと意味、実効性がないだろう。

仕事に於いて詳細精緻にこなす方法と、大雑把大局を把握する方法がある、前者は確かに優れてるが、欠陥もある。以下は一つの興味深い実例で参考になります。

「**求められる専門家の高貴なる義務と一般人の自覚**」.

<http://www.news.janjan.jp/living/0907/0907217472/1.php>

(3)**敵(癌として考えを変えない甘え連中)**を念頭に置かないと妨害工作で破壊される。

米国帝国主義支配の方が大間違いをしてるのであり、それを日本が率先修理しないと直らない戦後問題、村山政権崩壊の原因はCIA破壊工作に事前対処しなかったから。

日米安保中のナチスCIA温存容認こそが命取りになった歴史事実を今一度想起されたし。

よく現実路線と言うが、それは**現状維持の事**、その背景にひどい現状でもそれに大修理を加工するとより、ひどい将来可能性での責任を恐れる。もしくは守旧派からの甘い誘惑も、小学校で跳び箱や鉄棒をする一つの理由は危険を面前に一つの飛躍行動への修練である。ここは**才能と責任感**が突出する大問題で人材-組織の能力-忠誠心責任感がまさに評価される核心部分だが、時代が過去延長にない不都合な事実こそを皆が認めねばならぬ。

(4)辣腕とは51%確率に100%と想定しての**決断施工力**。〈正確には期待値評価の方法〉

以下は昔、会社の中国系米人上司から教わった見本例、見本例です。

安保廃棄選択成果	外国侵略被害	米国関係悪化	基地-CIA排除の利点
結果の評価	-100	-10	-5+15
結果付帯条件	挑発に乗らない	対抗政策	基地転換政策
結果の実現確率	0 ^X	0.5 ^X	1.0 ^X
結果の期待値	=0	=-5	=10

*日本に軍隊を作ったのは誰か

<http://alternativereport1.seesaa.net/article/49430203.Html>

*日本は既に核兵器を持っている・・・日本人全てを監視する米軍

<http://alternativereport1.seesaa.net/article/49609511.html>

*日本のジャーナリズムを監視する米軍組織

<http://alternativereport1.seesaa.net/article/122853746.html>

*米陸軍の日本の大学・研究所でのスパイ活動

<http://alternativereport1.seesaa.net/article/120855569.html>

(5)雇用と所得減不安国民には**最低保障政策**と同時に、従来生活がない事を承知してもらおう。
次期政権は誰がやっても超困難の膨大負債を背負う事を周知すべきだ。

そも過去に亡国政治の小泉などを安易に選択した国民自身の反省点を指摘してもよい。

基本となる発想は家族家計での経済、窮地になった家計での最大目標は全員の生活保障、
となると全員の稼ぎを全部上納し、しかる後に各自必要事情を相談合意して分配を決める
最悪事情での原理模型に関しては以下を参照。

http://www.geocities.jp/sqkh5981g/National_Family_Economy_System.pdf

(6)将来現実から逆算した現状産業構造改変：

必要を供給するのが商売基本は普遍、ところが**衣食住**が一通り足りて後の産業真相は
化粧直し産業と筆者はいささかヤバイ表現したが、この過剰適応は将来からの逆算では淘汰される。経営者-会社員にすれば売り上げ減は経営破綻直結、それは死刑宣告にも等しい。
だから**都合悪い現実真相をひたすら無視する延命策**というのが現状と思われる。毛虫が蝶
に変身するに於いては、カイコの中で一度体が**流体混沌化**するといわれる、その後に
過去形態とは似ても似つかぬ蝶に変身、今後が流動化するにおいて重大なる事はそれを
否定しない事かと思われる。問題は行き着く先への確固たる設計図、それは**現実真相**を
抜きに議論できるはずがないと思われる。まず大局図があって、後に局所詳細を決めねば
混乱化無秩序社会になるだろう。この詳細作業は到底筆者一人には負いかねるのです。